

# 第3次北はりま定住自立圏共生ビジョンにおける取組の進捗状況について

## 資料の見方

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	医療	施策	医療体制の確保
事業概要	圏域におけるがん治療の拠点病院として、引き続き機能強化に努めるとともに、緩和ケア体制の充実を図ります。また、脳卒中治療の拠点病院として脳卒中センターの運営を行うとともに、認知症に係る医療水準の向上に向けた地域連携体制の強化を進めます。		
事業効果	脳血管疾患やがん治療に対応できる総合的・安定的な救急医療体制等を構築し、適切な医療を提供することができます。また、専門医による診療及び相談体制の強化により、圏域内の認知症疾患に係る診療サービスの向上とともに、住民の理解促進を図ることができます。		
事業	1 医療機能強化事業	掲載ページ	50ページ

第3次共生ビジョンに記載されている事業内容です。

担当			
西脇市	西脇病院 医事課	多可町	健康課

事業担当課を記載しています。

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市】MRI（3.0テスラ）、高性能の血管造影装置等を活用して、安全・安心な医療サービスを提供した。 【多可町】町立診療所の機能維持及び多可赤十字病院への運営に対して助成した。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（8割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市】MRI（3.0テスラ）、眼科手術用顕微鏡を含む高性能の血管造影装置等を活用し、安全・安心な医療サービスを提供する体制を整えた。 【多可町】多可赤十字病院への運営助成により、安全・安心な医療サービスを提供することができた。また、病院経営改善計画を作成した。					
事業費（千円）	西脇市	159,000	多可町	59,000	合計	218,000	
	内訳	【西脇市】眼科手術用顕微鏡、低周波治療器等の更新 【多可町】町立診療所の機能維持及び多可赤十字病院への運営助成及び病院経営改善支援業務助成					
R7年度	取組計画	【西脇市】MRI（3.0テスラ）、高性能の血管造影装置等を活用し、安全・安心な医療サービスを提供する。 【多可町】町立診療所の機能維持及び杉原谷診療所の常勤医師の確保、多可赤十字病院への運営助成を行う。					
	事業費（千円）	西脇市	152,290	多可町	59,000	合計	211,290
	内訳	【西脇市】腹腔鏡カメラシステム等の更新 【多可町】町立診療所の機能維持及び多可赤十字病院への運営助成					

この事業の令和6年度の実績、事業費（決算額）をまとめています。「進捗状況」の評価は次の4段階です。  
A：想定どおりの成果が得られた  
B：おおむね想定どおり（8割以上）の成果が得られた  
C：不十分であるが一部において成果が得られた  
D：成果が得られていない

この事業の令和7年度の取組計画、事業費（予算額）をまとめています。

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
西脇病院における北はりま消防組合からの要請に対する受入率	目標	/	—	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	%	第3次共生ビジョンで定めている成果指標（KPI）を記載しています。KPIの評価は次の4段階です。 A：目標達成 B：90%以上達成 C：70%以上達成 D：70%未満
	実績	/	88.6	91.3	87.6	81.3	84.6	79.0		
	達成率	/	/	/	97%	90%	94%	88%		
評価	/	/	/	B	B	B	C			
指標結果の分析・評価	R6年度	新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ感染症の影響もあり、救急受け入れが困難な状況となり達成率が減少した。								

第3次北はりま定住自立圏共生ビジョン連携事業の進捗・達成状況について

		事業数	
		KPI①	KPI②
A	目標達成	18	5
B	90%以上達成	5	0
C	70%以上達成	6	1
D	70%未満	6	2
-	その他(事業調整中)	1	0

No.	政策	施策	事業	達成状況				
				KPI①		KPI②		
				R5	R6	R5	R6	
<b>&lt;生活機能の強化&gt;</b>								
1	医療	医療体制の確保	医療機能強化事業	B	C			
2			医療従事者確保対策事業	C	B			
3			地域医療施設整備事業	B	B			
4			休日急患センター運営事業	D	D			
5		医療連携の強化	病診連携推進事業	A	A	A	A	
6			病病連携推進事業	A	A			
7			へき地医療拠点病院事業	B	A	A	A	
8			地域医療を守る体制の確立	地域医療を守る住民活動の支援	D	D		
9	福祉	認定審査会業務の連携	介護認定審査会事業	B	C			
10			障害認定審査会事業	A	A			
11		地域福祉体制の強化	高齢者等の見守り事業	A	A			
12			子育て支援事業	A	A	A	D	
13	教育・文化	学校教育環境の充実	学校教育環境向上事業	D	D	D	D	
14		文化・スポーツ活動の振興	スポーツイベント交流事業	C	B	A	A	
15			文化交流事業	B	A			
16	文化財の保護及び利活用	文化財保存活用推進事業	A	-				
17	産業振興	農業の振興	地域ブランド普及開発推進事業	C	C			
18			農産物直売所運営事業	C	C			
19		商工業の振興	地域事業者成長支援事業	A	A			
20		鳥獣被害防止対策の推進	有害鳥獣有効活用事業	A	A			
21	その他	地域防災力の向上	消防・防災危機管理体制の整備検討	A	A			
22			水位監視対策事業	A	A			
23		ごみ処理業務の連携	ごみ処理事業	B	A			
24			新ごみ処理施設整備事業	D	D			
25			火葬及び葬儀業務の連携	広域斎場管理運営事業	B	B		
26			上下水道業務の連携	上下水道基盤強化事業	-	D		
<b>&lt;結びつきやネットワークの強化&gt;</b>								
27	地域公共交通	地域公共交通ネットワークの維持及び強化	地域公共交通ネットワーク事業	A	A			
28	道路等の交通インフラの整備	幹線道路の整備	国道427号整備促進事業	A	A			
29			自転車ネットワーク形成事業	C	C			
30	地域内外住民との交流・移住促進	地域資源の活用による交流・移住の促進	観光交流促進事業	B	B	C	C	
31			移住・定住促進事業	A	A	A	A	
32	その他	環境・エネルギー対策の推進	木質バイオマスエネルギー利用促進事業	A	A			
33			再生可能エネルギー導入推進事業	A	A	A	A	
34		住民相談窓口の相互利用	消費生活・多重債務相談窓口の相互利用の推進	A	A			
35			住民相談窓口の広域利用の推進	A	C			
<b>&lt;圏域マネジメント能力の強化&gt;</b>								
36	人材の育成及び確保	人材の育成及び確保	職員人材育成・確保事業	D	D			

黄色網掛けの事業 については、担当課長からの説明を行います。

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	医療	施策	医療体制の確保
事業概要	圏域におけるがん治療の拠点病院として、引き続き機能強化に努めるとともに、緩和ケア体制の充実を図ります。また、脳卒中治療の拠点病院として脳卒中センターの運営を行うとともに、認知症に係る医療水準の向上に向けた地域連携体制の強化を進めます。		
事業効果	脳血管疾患やがん治療に対応できる総合的・安定的な救急医療体制等を構築し、適切な医療を提供することができます。また、専門医による診療及び相談体制の強化により、圏域内の認知症疾患に係る診療サービスの向上とともに、住民の理解促進を図ることができます。		
事業	1 医療機能強化事業	掲載ページ	50ページ

担当			
西脇市	西脇病院 医事課	多可町	健康課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市】MRI（3.0テスラ）、高性能の血管造影装置等を活用して、安全・安心な医療サービスを提供した。 【多可町】町立診療所の機能維持及び多可赤十字病院への運営に対して助成した。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（8割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市】MRI（3.0テスラ）、眼科手術用顕微鏡を含む高性能の血管造影装置等を活用し、安全・安心な医療サービスを提供する体制を整えた。 【多可町】多可赤十字病院への運営助成により、安全・安心な医療サービスを提供することができた。また、病院経営改善計画を作成した。					
	事業費（千円）	西脇市	159,000	多可町	59,000	合計	218,000
R7年度	取組計画	【西脇市】MRI（3.0テスラ）、高性能の血管造影装置等を活用し、安全・安心な医療サービスを提供する。 【多可町】町立診療所の機能維持及び杉原谷診療所の常勤医師の確保、多可赤十字病院への運営助成を行う。					
	事業費（千円）	西脇市	152,290	多可町	59,000	合計	211,290
	内訳	【西脇市】眼科手術用顕微鏡、低周波治療器等の更新 【多可町】町立診療所の機能維持及び多可赤十字病院への運営助成及び病院経営改善支援業務助成					

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
西脇病院における北はりま消防組合からの要請に対する受入率	目標		—	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	%	
	実績		88.6	91.3	87.6	81.3	84.6	79.0		
	達成率				97%	90%	94%	88%		
	評価				B	B	B	C		
指標結果の分析・評価	R6年度	新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ感染症の影響もあり、救急受け入れが困難な状況となり達成率が減少した。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	医療	施策	医療体制の確保
事業概要	圏域の拠点病院である西脇病院の医療従事者を確保するため、勤務環境の改善を図るとともに、看護学校との連携や医師研修制度の整備・充実、情報発信の強化などを進めます。また、拠点病院の機能を補完する多可赤十字病院の医師の処遇を改善し、新たに赴任する医師に対する支援を行うために助成金を交付します。		
事業効果	医療従事者の充実と業務負担の軽減を図ることで、安全・安心な医療サービスが提供でき、病院運営の安定につなげることができます。		
事業	2 医療従事者確保対策事業	掲載ページ	51ページ

担当			
西脇市	西脇病院 病院総務課	多可町	健康課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市】保育施設の運用や医師事務作業補助者の配置などにより、働きやすい環境を確保した。修学資金貸与制度や就職説明会への参加などにより、医療従事者の確保を図った（園児数13名、修学資金貸与8名、うち新規採用3名（令和6年4月）、補助者：会計年度任用職員9名）。 【多可町】適切な医療体制が確保できるよう、特定診療科を支援するため医師派遣の費用を助成した。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（8割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市】修学資金貸付制度を利用した学生を、新たに1名を採用した。医師事務作業補助者は3名増員した。 【多可町】医療体制の充実を図り、概ね達成することができた。					
	事業費（千円）	西脇市	51,883	多可町	7,000	合計	58,883
	内訳	【西脇市】院内保育所運営委託 21,392千円 修学資金貸与（技術者養成費） 2,400千円 医師事務作業補助 27,431千円 顧問弁護士 660千円 【多可町】地域医療確保対策補助7,000千円					
R7年度	取組計画	【西脇市】保育施設の運用や医師事務作業補助者の配置などにより、働きやすい環境を確保する。修学資金貸与制度や就職説明会への参加などにより、医療従事者を確保する（園児数13名、修学資金貸与10名、うち新規採用6名（令和7年4月）、補助者：会計年度任用職員9名）。 【多可町】適切な医療体制が確保できるよう、特定診療科を支援するため医師派遣の費用を助成する。					
	事業費（千円）	西脇市	52,420	多可町	7,000	合計	59,420
	内訳	【西脇市】院内保育所運営委託 23,760千円 修学資金貸与（技術者養成費） 6,000千円 医師事務作業補助 22,000千円 顧問弁護士 660千円 【多可町】地域医療確保対策補助 7,000千円					

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
西脇病院医師数	目標		—	55	55	55	55	55	人	
	実績	51	51	51	51	49	50			
	達成率			93%	93%	89%	91%			
	評価		—	B	B	C	B			
指標結果の分析・評価	R6年度	令和5年度に引き続き、概ね達成することができた。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	医療	施策	医療体制の確保
事業概要	圏域の医療を支え、身近な医療の提供体制を確保するため、多可町内で新たに診療所を開設する開業医に対し、診療所の開設に必要な費用を一部助成します。		
事業効果	圏域の拠点病院から距離的・時間的に離れている多可町内において、身近な医療が提供でき安全・安心な受診環境を確保することができます。		
事業	3 地域医療施設整備事業	掲載ページ	52ページ

担当			
西脇市	西脇病院 病院総務課	多可町	健康課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市】西脇病院から多可町内の診療所へ医師を派遣した（「事業7／へき地医療拠点病院事業」に関連）。 【多可町】診療所を開設する開業医の実績なし。杉原谷診療所の医師が令和6年度末で定年退職を迎えたが、後任の医師を確保することができなかった。					
	進捗状況	D：成果が得られていない					
	取組の評価	【西脇市】多可町内での診療所へ医師を派遣することで、圏域の医療を支えた。 【多可町】診療所を開設する開業医の実績はなかったが、令和6年度から八千代診療所の常勤医師による診療が始まり、診療を現状維持することができた。					
	事業費 (千円)	西脇市	0	多可町	0	合計	0
R7年度	取組計画	【西脇市】圏域の医療を支えるため、多可町と連携する。 【多可町】診療所を開設する開業医の支援を継続する。令和6年度末で定年退職となった杉原谷診療所の医師の確保と西脇病院からの代診医の派遣により、診療の現状維持を目指す。					
	事業費 (千円)	西脇市	0	多可町	0	合計	0
	内訳	-					
	内訳	-					

成果指標 (KPI) ①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
多可町内診療所数	目標		—	9	9	10	10	10	箇所	
	実績		9	9	9	9	9			
	達成率			100%	100%	90%	90%			
	評価		—	A	A	B	B			
指標結果の分析・評価	R6年度	新たに開業する診療所はなかったが、八千代診療所の常勤医の確保や医師の相互派遣により診療所数を維持することができた。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	医療	施策	医療体制の確保
事業概要	圏域の拠点病院である西脇病院の施設内において、休日急患診療事業を運営主体である西脇多可行政事務組合が西脇市多可郡医療協会を指定管理者に指定し、事業を実施します。		
事業効果	医療機能の分担により、休日の救急患者に対し、切れ目のない適切な医療を提供することができます。		
事業	4 休日急患センター運営事業	掲載ページ	53ページ

担当			
西脇市	西脇病院 病院総務課	多可町	健康課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市・多可町】西脇市多可郡医師会の協力のもと、西脇病院内で軽症の救急患者を診察する「休日急患センター」を運営するため、西脇多可行政事務組合に負担金を拠出した。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市・多可町】西脇市多可郡医師会の協力のもと、休日の救急患者に対して切れ目のない適切な医療を提供することができた。					
	事業費 (千円)	西脇市	6,513	多可町	690	合計	7,203
	内訳	【西脇市】負担金1,923千円 【多可町】負担金 690千円 【西脇病院】4,590千円					
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】西脇市多可郡医師会の協力のもと、西脇病院内で軽症の救急患者を診察する「休日急患センター」を運営するため、西脇多可行政事務組合に負担金を拠出する。					
	事業費 (千円)	西脇市	6,794	多可町	690	合計	7,484
	内訳	【西脇市】負担金2,114千円 【多可町】負担金 690千円 【西脇病院】4,680千円					

成果指標 (KPI) ①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
休日急患センター 受診患者数	目標	/	—	500	500	500	500	500	人	/
	実績	/	364	115	158	142	242	256		/
	達成率	/	/	32%	28%	48%	51%			/
	評価	/	/	—	D	D	D	D		
指標結果の分析・評価	R6年度	新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ感染症の影響により、受信者数が増加した。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	医療	施策	医療連携の強化
事業概要	西脇病院が圏域の医療機関に施設などの病院機能を開放し、入院患者への共同指導や医療機器の共同利用を推進するとともに、医療に関する研修を実施します。		
事業効果	患者の相互紹介等により、西脇病院とかかりつけ医との役割分担や医療連携が一層推進され、効果的で切れ目のない医療サービスを提供することができ、圏域の医療提供体制の強化につなげることができます。		
事業	5 病診連携推進事業	掲載ページ	55ページ

担当			
西脇市	西脇病院 医事課	多可町	健康課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市・多可町】病診連携のための啓発活動の実施 【西脇市】地域医療支援病院として、西脇病院・西脇市多可郡医師会が連携し、入院患者の共同指導、病院医療機器の共同利用を行うとともに、医療従事者への研修（医療検討会等）を実施した。また、病診連携のための啓発活動を行い、医療機関の役割に応じた紹介・逆紹介などの流れの浸透と定着化など、病診連携の推進・強化を図った（紹介率65.0%以上、かつ、逆紹介率65.0%以上）。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市・多可町】内科ホットライン（医師会専用回線電話）の活用、平日19時までのFAX紹介時間延長などの取組で、病診連携を推進することができた。また、地域の医療関係者の質向上を図るための研修会を積極的に開催できた。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
	内訳	-					
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】病診連携のための啓発活動の実施 【西脇市】地域医療支援病院として、西脇病院・西脇市多可郡医師会が連携し、入院患者の共同指導、病院医療機器の共同利用を行うとともに、医療従事者への研修（医療検討会等）を実施する。また、病診連携のための啓発活動を行い、医療機関の役割に応じた紹介・逆紹介などの流れの浸透と定着化など、病診連携の推進・強化を図る（紹介率65.0%以上、かつ、逆紹介率65.0%以上）。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
	内訳	-					

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
西脇病院における患者紹介率	目標	/	-	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	%	/
	実績	65.3	69.5	66.4	72.2	81.9	85.8			
	達成率	/	/	102%	111%	126%	132%			
	評価	/	-	A	A	A	A			
指標結果の分析・評価	R6年度	医療機関の役割に応じた紹介などの流れが浸透している。								

成果指標（KPI）②										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
西脇病院における患者逆紹介率	目標	/	-	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	%	/
	実績	70.5	74.4	72.2	80.7	88.6	87.9			
	達成率	/	/	111%	124%	136%	135%			
	評価	/	-	A	A	A	A			
指標結果の分析・評価	R6年度	医療機関の役割に応じた逆紹介などの流れが浸透している。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	医療	施策	医療連携の強化
事業概要	医療資源を効果的に活用し、圏域医療を持続的に確保するため、西脇病院と多可赤十字病院の間において、患者紹介など病院間の役割分担を図り、電子カルテによる医療情報の共有化や医師の相互派遣等を実施し、病院間の連携を強化します。		
事業効果	より専門的で効率的な医療提供が可能になるとともに、病院に不足する診療機能の相互補完を図ることができ、圏域の医療提供体制の強化につながります。		
事業	6 病病連携推進事業	掲載ページ	56ページ

担当			
西脇市	西脇病院 病院総務課	多可町	健康課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市・多可町】連携パス協議を実施し、地域連携クリニカルパス（脳卒中、大腿骨）を推進するとともに、地域医療連携システムの運用を進めた。 【西脇市】西脇病院から多可赤十字病院に対し、皮膚科医師（週1回）、内科医師（週2回）及び乳腺外科医師（随時）を派遣した。 【多可町】多可赤十字病院へ西脇病院から医師を受け入れた。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市】感染症対策をしっかり講じながら、応援医師の派遣を行うことができた。					
	事業費（千円）	西脇市	1,251	多可町	0	合計	1,251
	内訳	【西脇市】絆ネット運用費（専用回線利用料・プロバイダー料など）104,247円×12か月					
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】連携パス協議を実施し、地域連携クリニカルパス（脳卒中、大腿骨）を推進するとともに、地域医療連携システムの運用を進める。 【西脇市】西脇病院から多可赤十字病院に対し、皮膚科医師（週1回）、内科医師（週1回）及び乳腺外科医師（随時）を派遣する。 【多可町】多可赤十字病院へ西脇病院から医師を受け入れる。					
	事業費（千円）	西脇市	1,251	多可町	0	合計	1,251
	内訳	【西脇市】絆ネット運用費（専用回線利用料・プロバイダー料など）104,247円×12か月					

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
北はりま絆ネット同意書数	目標		—	870	890	910	930	950	件	
	実績	850	958	1,129	1,302	1,481	1,725			
	達成率			130%	146%	163%	185%			
	評価		—	A	A	A	A			
指標結果の分析・評価	R6年度	設定目標を1年ごとに20件増としていたが、令和6年度は244件と大幅に増えた。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	医療	施策	医療連携の強化
事業概要	へき地医療拠点病院に指定されている西脇病院から、へき地診療所である多可町立診療所に代診医を派遣するなど必要な診療支援を行います。		
事業効果	多可町立診療所が休診することなく、患者の診療が可能となることで、安全・安心な受診環境の確保と圏域医療の安定につなげることができます。		
事業	7 へき地医療拠点病院事業	掲載ページ	57ページ

担当			
西脇市	西脇病院 病院総務課	多可町	健康課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市】西脇病院から多可町立診療所に対し、申請に基づいて臨時に代診医（内科）を派遣した。 【多可町】申請に基づいて臨時に代診医（内科）の派遣を受け入れた。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市・多可町】代診医の派遣により、安全・安心な受診環境の確保と圏域医療の安定につなげることができた。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	2,331	合計	2,331
	内訳	【多可町】国保直営診療所 2,331,000円（代診医@37,000円×63回） 杉原谷診療所 なし					
R7年度	取組計画	【西脇市】西脇病院から多可町立診療所に対し、申請に基づいて臨時に代診医（内科）を派遣する。杉原谷診療所については、申請に基づき、管理者も派遣する。 【多可町】申請に基づいて臨時に代診医（内科）を派遣してもらう。杉原谷診療所については6月から管理者も派遣してもらう。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	6,936	合計	6,936
	内訳	【多可町】国保直営診療所 2,331,000円（代診医@37,000円×63回） 杉原谷診療所 2,220,000円（代診医@37,000円×60回） 2,385,000円（管理者@15,000円×159回）					

成果指標（KPI）①									
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
多可町立診療所 診療日数	目標	/	—	239	239	239	239	239	日
	実績	/	239	242	234	214	241		
	達成率	/	/	101%	98%	90%	101%		
	評価	/	—	A	B	B	A		
指標結果の分析・評価	R6年度	代診医の派遣により、診療を続けることができた。							

成果指標（KPI）②									
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
多可町立診療所への 医師派遣回数	目標	/	—	20	20	20	20	20	回
	実績	/	20	5	65	128	63		
	達成率	/	/	35%	325%	640%	315%		
	評価	/	—	D	A	A	A		
指標結果の分析・評価	R6年度	令和6年度から八千代診療所の常勤医による診療が始まったことにより派遣回数が減少したが、引き続き代診医を派遣し、診療所を休診することなく診療を続けることができた。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	医療	施策	地域医療を守る体制の確立
事業概要	医療機関への適正受診に向けた啓発や勉強会の開催など、西脇小児医療を守る会や地域医療を支える市民の会が行う地域医療を守り支える住民意識の醸成に資する活動を支援するとともに、受診案内・援助などを行う病院ボランティアの受入れなどを進めます。また、病院フェスタの開催など地域に開かれた病院づくりを進めます。		
事業効果	地域医療を守り、支える意識が普及し、圏域住民の適正な受診行動を促進することができ、医療従事者の業務に対する理解促進や負担軽減につなげることができます。		
事業	8 地域医療を守る住民活動の支援	掲載ページ	59ページ

担当			
西脇市	西脇病院 病院総務課	多可町	健康課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市】教育委員会や児童福祉部門と連携・協力して、地域医療を守り支える住民意識の醸成に資する活動を支援し、病院ボランティアの積極的な受入れを一部行った。 【多可町】地域医療確保対策協議会を開催する予定だったが、開催できなかった。					
	進捗状況	C：不十分であるが一部において成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市】感染症対策のため、病院フェスタは開催できなかったが、「地域医療」を市民みんなで考える市民フォーラムを実施した。 【多可町】地域医療確保対策協議会は、感染症の影響で開催できなかった。					
	事業費 (千円)	西脇市	0	多可町	0	合計	0
	内訳	-					
R7年度	取組計画	【西脇市】教育委員会や児童福祉部門と連携・協力して、地域医療を守り支える住民意識の醸成に資する活動を支援し、病院ボランティアを積極的に受け入れる。 【多可町】地域医療確保対策協議会を開催するための議題を決めるために、どのようなニーズがあるのか検討する。					
	事業費 (千円)	西脇市	0	多可町	0	合計	0
	内訳	-					

成果指標 (KPI) ①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
病院フェスタ 市民フォーラム 参加者数	目標		—	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	人	
	実績		2,600	—	162	350	63			
	達成率			—	6%	13%	2%			
	評価			—	—	D	D	D		
指標結果の分析・評価	R6年度	感染症対策として病院フェスタは中止したが、市民フォーラムを開催することができた。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	福祉	施策	認定審査会業務の連携
事業概要	介護が必要な高齢者等が必要な介護サービスを受けることができるよう要介護等の認定を行う審査会業務を西脇多可行政事務組合で行います。		
事業効果	審査会業務の運営の効率化と審査判定結果の迅速化を図り、公正・適正な事務を確保することができます。		
事業	9 介護認定審査会事業	掲載ページ	61ページ

担当	
西脇市・多可町	西脇多可行政事務組合 認定審査課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	西脇市及び多可町による一次判定に基づき、認定審査会を開催した（年間159回、審査件数3,235件）。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	審査会（年間159回）を開催し、公正な審査を引き続き行った。					
	事業費（千円）	西脇市	—	多可町	—	合計	35,040
	内訳	人件費 31,675千円 介護認定審査会運営 366千円				介護認定審査事務 2,999千円	
R7年度	取組計画	西脇市及び多可町による一次判定に基づいて審査会を開催し、二次判定を行う。					
	事業費（千円）	西脇市	—	多可町	—	合計	59,356
	内訳	人件費 35,344千円 介護認定審査会運営 526千円				介護認定審査事務 3,809千円 介護認定審査会支援システム改修 19,677千円	

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
介護認定審査会 開催回数	目標	—	—	191	191	191	191	191	回	
	実績	191	130	125	144	178	159			
	達成率	—	—	65%	75%	93%	83%			
	評価	—	—	D	C	B	C			
指標結果の分析・評価	R6年度	新型コロナウイルス感染症による認定期間延長の臨時的な取り扱いが終了されたことによる反動で審査件数が大幅に増加した令和5年度と比べ、令和6年度は従来の認定更新周期に戻ったことにより審査会の開催回数は減少したが、令和4年度以前の開催回数は上回った。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	福祉	施策	認定審査会業務の連携
事業概要	障害者が障害特性に応じて必要な障害福祉サービスを受けることができるとともに、自立した生活ができるよう障害支援区分の認定を行う審査会業務を西脇多可行政事務組合で行います。		
事業効果	審査会業務の運営の効率化と審査判定結果の迅速化を図り、公正・適正な事務を確保することができます。		
事業	10 障害認定審査会事業	掲載ページ	62ページ

担当	
西脇市・多可町	西脇多可行政事務組合 認定審査課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	西脇市及び多可町による一次判定に基づいて認定審査会を毎月1回計12回開催し、162件を審査した。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	毎月1回審査会を開催し、公正な審査を引き続き行った。					
	事業費 (千円)	西脇市	-	多可町	-	合計	5,885
	内訳	人件費 5,489千円 障害認定審査事務 391千円 障害認定審査会運営 5千円					
R7年度	取組計画	西脇市及び多可町による一次判定に基づいて審査会を開催し、二次判定を行う。					
	事業費 (千円)	西脇市	-	多可町	-	合計	6,625
	内訳	人件費 6,138千円 障害認定審査事務 438千円 障害認定審査会運営 49千円					

成果指標 (KPI) ①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
障害認定審査会 開催回数	目標	/	-	12	12	12	12	12	回	/
	実績	12	12	12	12	12	12			
	達成率	/	/	100%	100%	100%	100%			
	評価	/	-	A	A	A	A			
指標結果の分析・評価	R6年度	毎月1回審査会を開催し、二次判定を行った。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	福祉	施策	地域福祉体制の強化
事業概要	行政、関係機関、関係団体等によるネットワーク「あんしんはーとねっと事業」を構築し、高齢者や障害者、子どもなどの見守りを行うとともに、認知症等により行方不明となった高齢者の捜索への協力をを行います。		
事業効果	高齢者等が安心して地域で生活できる社会の実現につながる事が期待されます。		
事業	11 高齢者等の見守り事業	掲載ページ	64ページ

担当			
西脇市	長寿福祉課	多可町	ふくし相談支援課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市】あんしんはーとねっと事業強化月間（11月）に、事業協力者を対象に事業報告会及び研修会を開催した。横断幕（市内3か所）を掲示し、地域での見守りについて啓発活動を行った。市町ホームページで事業協力者を募集した。 【多可町】事業協力者の名簿を更新するとともに、新たな協力事業者を募集した。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市・多可町】事業協力者が9事業所増加した。また、研修会を通して地域での見守りについて啓発し、地域の方々と一緒に検討することができた。					
	事業費 (千円)	西脇市	44	多可町	83	合計	127
	内訳	【西脇市】研修会講師報償費30千円、郵便代14千円 【多可町】郵便代62千円、パンフレット等購入21千円					
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】事業協力者の募集及び高齢者等の見守りの啓発を行う。 【西脇市】認知症高齢者を対象にQRコードを用いた見守りシールを導入する。 【多可町】中学校と協力し、見守り訓練を実施する。					
	事業費 (千円)	西脇市	267	多可町	153	合計	420
	内訳	【西脇市】研修会講師報償費50千円、郵便代22千円、印刷製本費195千円 【多可町】研修会講師報償費40千円、郵便代64千円、パンフレット等購入費49千円					

成果指標 (KPI) ①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
あんしんはーとねっと事業 協力事業者数	目標		—	215	219	223	227	231	事業者	
	実績		205	232	233	258	265	274		
	達成率			108%	118%	119%	121%			
	評価		—	A	A	A	A			
指標結果の分析・評価	R6年度	目標は達成しているが、引き続き、新たな事業協力者の募集を行う。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	福祉	施策	地域福祉体制の強化
事業概要	子育て支援情報の相互発信や事業の相互利用・共同実施、子育て支援団体等のネットワーク化などに取り組みます。また、圏域内移動者で支援が必要な家庭に対し、相談員等による指導・見守りの実施や情報共有を図ります。		
事業効果	子育て支援施策が充実することで、圏域全体の子育て環境の向上につなげることができます。		
事業	12 子育て支援事業	掲載ページ	65ページ

担当			
西脇市	はびいくサポートセンター	多可町	こども未来課

事業計画・取組状況						
R6年度	取組実績	【西脇市・多可町】保護者の子育て力の向上を目指し、市町の枠組みを超えてつながるイベントを開催した。未就学児がいる家庭を対象に、親子ふれあい遊びや、防災についての学びの場を提供することができた。交流を深めるため、遊びや学びに加えイベント時に食を共にする機会を設けた。チラシ配布やSNSの発信等によりお互いのイベントや事業を周知し、両市町の対象者の参加者の増加につなげた。圏域内移動者で支援が必要な家庭や、圏域内で転居し支援が必要な家庭には、相談員等による見守りや情報共有を図った。				
	進捗状況	C：不十分であるが一部において成果が得られた				
	取組の評価	【西脇市・多可町】圏域内移動者で支援が必要な家庭に対し、関係機関によるケース会議を開催し、情報共有を図ることで、ケースの概要を知り、支援方針を立てることができた。 【西脇市】互いの市町で事業を開催し、それぞれの環境を生かした触れあいと学びの場を持つことができた。発達に遅れや不安のある児童が、イベントでブースを出し活躍できる居場所となった。また、チラシ配布やSNSの発信等により、イベントや事業の周知を図り、両市町の対象者の参加につなげていった。 【多可町】自由来館における相互利用の効果もあり、保護者同士の顔見知りも増えてきているように感じる。また、職員との関係が築かれつつあることで、支援の受け皿の広がりにつながっている。さらに両市町による事業開催においては、交流を深めることができた。				
	事業費(千円)	内訳	490	多可町	0	合計
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】子育て中の保護者同士が繋がりがながら子育てを楽しめるように事業やイベントを開催する。また、子育てに係る様々な情報を発信し、子育て力の向上を図る。支援を必要とする子どもや保護者への支援を両市町で共有し、一貫性のある支援を行う。チラシ配布やSNSの発信等で、事業やイベントを周知し、両市町の対象者の参加を図る。				
	事業費(千円)	内訳	466	多可町	0	合計

成果指標 (KPI) ①									
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
児童館利用者数	目標		—	72,800	72,800	74,000	74,000	74,200	人
	実績	86,956	21,596	33,720	57,552	86,407	86,752		
	達成率			46%	79%	117%	117%		
	評価		—	D	C	A	A		
指標結果の分析・評価	R6年度	両市町での事業やイベントが浸透してきたこともあり、年々利用者数が増加している。							

成果指標 (KPI) ②									
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
市町間交流事業 実施回数	目標		—	4	6	6	8	8	回
	実績	4	0	1	3	6	3		
	達成率			25%	50%	100%	38%		
	評価		—	D	D	A	D		
指標結果の分析・評価	R6年度	事業等の関係で日程が合わず、実施回数が減った。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	教育・文化	施策	学校教育環境の充実
事業概要	新たな技術、グローバル教育などの新たな教育課題への対応や、少子化などの教育を取り巻く環境の変化に対応するため、教職員の人材育成・交流や部活動運営の共同実施、業務改善に向けた取組などを連絡会議で調査研究するとともに、必要な事業を共同で実施します。		
事業効果	教職員の資質向上・交流や課外活動等の運営改善などを通じて、学校教育の質の向上と、課外活動等の多様性・質の確保、効率性の向上が期待できます。		
事業	13 学校教育環境向上事業	掲載ページ	67ページ

担当			
西脇市	学校教育課 教育研究室	多可町	学校教育課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市・多可町】 「GIGAスクール構想における授業と校務DXを語る」と題した講演会を、学校教育環境向上事業の合同研修に位置付け、西脇市市民交流施設オリナスホールで開催した。学校DX戦略アドバイザーの新保元康氏、水谷年孝氏、大城智紀氏を招聘し、両市町の教職員が参加した。					
	進捗状況	C：不十分であるが一部において成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市・多可町】一人一台端末とクラウド環境を活用した効果的な教育実践について研修を行い、指導力の向上を図るとともに、働き方改革の推進に向けて校務DXについての見識を深めた。大会の主催が西脇市ということもあり、西脇市に比べ多可町の教職員の参加は少なかった。					
	事業費(千円)	西脇市	0	多可町	0	合計	0
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】圏域内で、多人数での合同研修を実施する。					
	事業費(千円)	西脇市	60	多可町	0	合計	60
	内訳	【西脇市】教職員研修会 60千円					

成果指標 (KPI) ①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
連絡会議開催回数	目標	/	—	1	1	1	1	1	回	/
	実績	1	—	—	—	0	0			
	達成率	/	—	—	—	0%	0%			
	評価	/	—	—	—	D	D			
指標結果の分析・評価	R6年度	連絡会議は開催しなかったが、適宜やり取りし、市町教委がそれぞれで行う研修を相互に案内した。								

成果指標 (KPI) ②										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
共同研修参加者数	目標	/	—	50	55	60	65	70	人	/
	実績	50	—	—	—	22	10			
	達成率	/	—	—	—	37%	15%			
	評価	/	—	—	—	D	D			
指標結果の分析・評価	R6年度	大人数での研修はできなかったが、事務担当者の研修会を実施した。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	教育・文化	施策	文化・スポーツ活動の振興
事業概要	スポーツイベントの情報を圏域全体に発信するとともに、各市町で実施する既存事業においては圏域住民の積極的な参加を推進するため、連絡会議を設置し、事業の振興と交流の促進を図ります。また、西脇多可新人高校駅伝競走大会など圏域内において共同で実施する事業の支援や連携の調整・検討を行います。		
事業効果	スポーツ活動の機会が拡充することで、圏域全体のスポーツの振興や質的向上につながるるとともに、住民の相互交流を促進することができます。		
事業	14 スポーツイベント交流事業	掲載ページ	69ページ

担当			
西脇市	生涯学習課	多可町	生涯学習課

事業計画・取組状況						
R6年度	取組実績	【西脇市・多可町】西脇多可新人高校駅伝競走大会を実施し、参加申込数が男女で131チーム（前回大会108チーム）と昨年より増加した。大会経費の増加が懸念されたが、企業協賛金6,669,819円（前回大会7,226,544円）を確保することができた。				
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた				
	取組の評価	【西脇市・多可町】令和5年度に続き、新人高校駅伝競走大会を開催することができ、協賛金も確保できたが、大会経験者が少なく、事務手続き等で不備が生じた。				
	事業費（千円）	西脇市	2,000	多可町	1,000	合計
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】西脇多可新人高校駅伝競走大会を開催し、参加チーム数の増加を目指す。また、協賛金は18回大会（令和7年2月実施）と同額を確保するとともに、走路外補助員の有償を含めボランティア募集を計画する。				
	事業費（千円）	西脇市	2,000	多可町	1,000	合計
		内訳	【西脇市】西脇多可新人高校駅伝競走大会 2,000千円 【多可町】西脇多可新人高校駅伝競走大会 1,000千円			

成果指標 (KPI) ①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
西脇多可 新人高校駅伝競走大会 参加チーム数	目標	/	—	140	140	145	145	150	チーム	/
	実績	135	—	—	—	108	131			
	達成率	/	—	—	—	74%	90%			
	評価	/	—	—	—	C	B			
指標結果の分析・評価	R6年度	2年連続の開催となり、参加チームが増加した。								

成果指標 (KPI) ②										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
西脇多可 新人高校駅伝競走大会 関係者数（観客含む）	目標	/	—	9,500	9,500	10,000	10,000	11,000	人	/
	実績	9,000	—	—	—	11,000	11,000			
	達成率	/	—	—	—	110%	110%			
	評価	/	—	—	—	A	A			
指標結果の分析・評価	R6年度	ボランティアをはじめ、沿道での応援など、多くの住民に関わっていただいた。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	教育・文化	施策	文化・スポーツ活動の振興
事業概要	文化事業の情報を圏域全体に発信するとともに、文化団体の相互交流やイベント等の共同実施などにより、圏域住民が中心となった文化活動を促進します。また、新たに活動を始める団体の設立支援やセミナーの開催など、文化活動の担い手を育成します。		
事業効果	文化活動を通じた住民交流が促進されることで、圏域全体の文化活動の振興や質的向上につながります。		
事業	15 文化交流事業	掲載ページ	70ページ

担当			
西脇市	生涯学習課	多可町	生涯学習課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市・多可町】圏域の連携を密にして広報活動を幅広く行い、集客数の増加に努めた。 【西脇市】令和7年3月26日には、劇団四季ファミリーミュージカル「ふたりのロツテ」を上演し、チケットが完売し、来場者が質の高い文化芸術を鑑賞することができた。 【多可町】大塚雅史氏の指導で、令和7年3月15日、16日（各日1回公演）に演劇を上映した。また、演劇セミナーにつなげるため、大塚氏が推薦する講師によるワークショップを年間6回実施した。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市・多可町】ポスター掲示やチラシの配布で協力体制をとることで、事業内容の把握やチケット販売の推進を図った。また、入場者数の増加につなげた。					
	事業費 (千円)	西脇市	4,694	多可町	3,689	合計	8,383
	内訳	【西脇市】劇団四季ファミリーミュージカル 4,694千円 【多可町】演劇セミナー・発表公演 3,531千円、ワークショップ 158千円					
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】圏域内の連携を密にして広報活動を幅広く行い、集客増につなげる。 【西脇市】近隣市町から集客が見込める劇団四季ファミリーミュージカルを上演する。 【多可町】引き続き、大塚雅史氏の指導により令和8年3月14日・15日（各日1回公演）に演劇を上演する予定。また、演劇セミナーにつなげるため、大塚氏が推薦する講師によるワークショップを年間6回実施する。					
	事業費 (千円)	西脇市	4,748	多可町	3,851	合計	8,599
	内訳	【西脇市】劇団四季ファミリーミュージカル 4,748千円 【多可町】演劇セミナー・発表公演 3,671千円、ワークショップ 180千円					

成果指標 (KPI) ①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
市民ホール等利用者数	目標		—	77,957	79,505	81,054	82,602	84,150	人	
	実績		72,591	34,224	70,952	75,498	73,063	92,069		
	達成率				91%	95%	90%	111%		
	評価				B	B	B	A		
指標結果の分析・評価	R6年度	イベントを開催し、他市町を含めた集客ができた。選挙（期日前投票）での貸館もあり、利用者数は増加した。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	教育・文化	施策	文化財の保護及び利活用
事業概要	西脇市郷土資料館及び那珂ふれあい館が収蔵する文化財や歴史的資料などを活用し、共通のテーマによる企画展を開催します。また、文化財等の調査や保存活用の方法について調査研究する研究会を開催し、情報共有や文化財等の調査・活用に向けた連携を進めます。		
事業効果	自治体の枠組みを超えた連携により、文化財収蔵施設の業務の効率化を図ることができるとともに、文化財情報の共有・公開や企画展を通じた圏域文化財の発信により、文化財に対する意識の向上や郷土への愛着の醸成につながることを期待されます。		
事業	16 文化財保存活用推進事業	掲載ページ	72ページ

担当			
西脇市	生涯学習課	多可町	教育総務課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市・多可町】文化財等の調査や保存活用の方法について調査研究する研究会及び次回の巡回共同企画展（令和8年度開催予定）の打合せ会議を実施した。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（8割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	文化財等の調査や保存活用の方法について調査研究する研究会を開催することにより、情報共有や文化財等の調査・活用に向けた連携が得られた。次回開催の巡回共同企画展の打合せ会議を開催した。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】文化財等の調査や保存活用の方法を調査研究する研究会及び次回巡回共同企画展の打合せ会議を行う。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
	事業費（千円）	内訳	-				

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
共同企画展来館者数	目標		—	—	1,500	—	—	1,600	人	
	実績	1,319	510	—	—	1,791	0			
	達成率			—	—	119%	—			
	評価		—	—	—	A	—			
指標結果の分析・評価	R6年度	巡回共同企画展の開催に向けて、打合せ会議を開催した。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	産業振興	施策	農業の振興
事業概要	圏域で栽培されている日本のヘソゴマをはじめ、各市町の特産品を地域ブランドとして普及・浸透を図るとともに、地元農産物を活用した加工品の開発に取り組みます。また、イベントを通じたPR活動などによる情報発信を行います。		
事業効果	地元農産物の生産と消費の拡大と知名度の向上を図ることができ、農商工連携による産業の創出と圏域経済の活性化が期待できます。		
事業	17 地域ブランド普及開発推進事業	掲載ページ	74ページ

担当			
西脇市	農林振興課	多可町	商工観光課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市・多可町】地元農産物を活用した特産品の開発及びPRを行った。 【西脇市】農業祭や黒田庄和牛畜産共進会、兵庫県畜産共進会の開催を支援した。 【多可町】地域資源に対する消費の喚起・拡大を図ることで、まちの賑わいが創出された。多可町ふれあいまつりを開催した。					
	進捗状況	C：不十分であるが一部において成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市・多可町】イベントや地域に密着した支援に加え、民間企業とも連携することで地元農産物の消費拡大と知名度の向上が図られた。					
	事業費(千円)	西脇市	2,898	多可町	6,400	合計	9,298
	内訳	【西脇市】農業祭補助金 400千円、黒田庄和牛ブランド化支援補助金 100千円 農産物流通拡大促進業務委託 2,398千円 【多可町】ふれあいまつり補助金 6,400千円					
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】地元農産物を活用した特産品の開発及びPRを行う。 【西脇市】農業祭、黒田庄和牛畜産共進会、兵庫県畜産共進会の支援及び西脇市の特産農産物の6次産業化を支援する。 【多可町】地域資源に対する消費の喚起・拡大を図り、まちの賑わいの創出を目指す。多可町ふれあいまつりを開催する。					
	事業費(千円)	西脇市	3,525	多可町	6,800	合計	10,325
	内訳	【西脇市】農業祭補助金 400千円、黒田庄和牛ブランド化支援補助金 100千円 農産品流通拡大促進業務委託 3,025千円 【多可町】ふれあいまつり補助金 6,800千円					

成果指標 (KPI) ①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
北はりま旬菜館 加工品売上高	目標		—	64,000	65,000	66,000	67,000	68,000	千円	
	実績	62,000	59,516	73,816	55,467	55,932	50,141			
	達成率			115%	85%	85%	75%			
	評価			A	C	C	C			
指標結果の分析・評価	R6年度	加工品を供給している旬工房の稼働日数の減少（週5→週3）に伴い、令和5年度売上を下回ったものの一定の成果が得られた。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	産業振興	施策	農業の振興
事業概要	圏域で生産された農産物と地元農産物を利用した加工食品などを受け入れ、一般消費者に販売する施設を運営します。また、農産物の生産から出荷までを管理する出荷者協議会による生産出荷体制の強化に向けた取組を支援します。		
事業効果	農産物等の販路を確保することにより、地産地消が拡大し、農業従事者等の生産・出荷意欲の向上が図られ、農業をはじめとした関連産業の活性化が期待できます。		
事業	18 農産物直売所運営事業	掲載ページ	75ページ

担当			
西脇市	農林振興課	多可町	商工観光課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市】農産物直売所を、(株)北はりま旬菜館の指定管理によって運営するとともに、出荷者協議会に対して農産物の生産拡大や出荷促進を図った（売上推移と経営状況から自主運営が可能になったことから、令和4～6年度の指定管理料0円）。 【多可町】町内の生産者に呼びかけ、(株)北はりま旬菜館で特産品、農産物の生産拡大や出荷促進を図った。					
	進捗状況	C：不十分であるが一部において成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市・多可町】圏域内の売り上げは緩やかに減少しているものの、旬菜館全体の売り上げは増加しており、農産物等の販路確保、地産地消の側面で一定の成果が得られた。					
	事業費 (千円)	西脇市	1,765	多可町	0	合計	1,765
	内訳	【西脇市】集出荷業務委託 1,000千円、役務費・消耗品費ほか 765千円					
R7年度	取組計画	【西脇市】農産物直売所を、(株)北はりま旬菜館の指定管理によって運営するとともに、出荷者協議会に対して農産物の生産拡大や出荷促進を図る。 【多可町】町内の生産者に呼びかけ、(株)北はりま旬菜館で特産品、農産物の生産拡大や出荷促進を図る。					
	事業費 (千円)	西脇市	1,108	多可町	0	合計	1,108
	内訳	【西脇市】集出荷業務委託 1,000千円、役務費、消耗品費ほか 108千円					

成果指標 (KPI) ①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
北はりま旬菜館 圏域出荷者売上高	目標		—	125,000	130,000	135,000	140,000	145,000	千円	
	実績		117,000	146,476	141,614	120,439	118,057	116,579		
	達成率			113%	93%	87%	83%			
	評価			A	B	C	C			
指標結果の分析・評価	R6年度	圏域内出荷者の減少によって目標額に達しなかったものの、前年度並みの売り上げで一定の効果が得られた。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	産業振興	施策	商工業の振興
事業概要	西脇商工会議所や多可町商工会、その他商工団体、金融機関等と連携し、地域の中小企業・小規模事業者の持続的な成長に向けた支援を行います。また、地場産業「播州織」など、共通する産業資源をテーマに連携した支援を行うほか、圏域で一体的な活動を行う商工団体を対象に、自治体の枠組みを超えた支援を行います。		
事業効果	西脇市と多可町は、共通する地域産業を有しており、一体的な経済圏を形成していることに加え、一つの組織として活動する商工関係団体もあり、地域企業の活動支援に一体的に取り組んでいくことで持続的な経済発展につながります。		
事業	19 地域事業者成長支援事業	掲載ページ	77ページ

担当			
西脇市	商工観光課	多可町	商工観光課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市・多可町】西脇商工会議所・多可町商工会と連携し、圏域内の播州織事業者の販路開拓とともに、産地イベント「播州織産地博覧会」や「西脇・多可オープンファクトリーイベント」の開催を支援した。加えて、西脇商工会議所・多可町商工会と連携し、西脇市市民交流施設で圏域企業が参加する合同就職説明会を開催した。					
	進捗状況	A：想定通りの成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市・多可町】令和5年度に引き続き、産地イベント「播州織産地博覧会」が実行委員会によって実施され、また地域一体型オープンファクトリー「もっぺん」が初めて実施され、両市町と業界団体等と連携し、地域に密着した商工業者の支援を適切に行うことができた。					
	事業費(千円)	西脇市	3,200	多可町	1,154	合計	4,354
	内訳	【西脇市】地域商業活性化支援事業（会議所分） 1,000千円、商工業振興事業（会議所・播州織按分） 200千円、産業観光推進事業（会議所分） 2,000千円 【多可町】播州織ブランド化事業補助金 154千円、西脇多可オープンファクトリー事業補助金 1,000千円					
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】西脇商工会議所・多可町商工会と連携し、圏域内の播州織事業者の販路開拓とともに、産地イベント「播州織産地博覧会」や「西脇・多可オープンファクトリーイベント」の開催を支援する。さらに、圏域企業が参加する合同就職説明会を西脇市内で開催する。					
	事業費(千円)	西脇市	2,700	多可町	1,400	合計	4,100
	内訳	【西脇市】地域商業活性化支援事業（会議所分） 1,000千円、商工業振興事業（会議所・播州織按分） 200千円、産業観光推進事業（会議所分・オープンファクトリー） 1,500千円 【多可町】播州織ブランド化事業補助金 400千円、西脇多可オープンファクトリー事業補助金 1,000千円					

成果指標 (KPI) ①									
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
連携事業に参加した事業所数	目標	—	—	70	70	70	80	80	事業所
	実績	59	99	51	62	83	109		
	達成率	—	—	73%	89%	119%	136%		
	評価	—	—	C	C	A	A		
指標結果の分析・評価	R6年度	オープンファクトリーの開催やギフトショーへの出展など、新たな取組への支援になり、目標を達成し、一定の成果を上げることができた。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	産業振興	施策	鳥獣被害防止対策の推進
事業概要	農作物への鳥獣被害やそれに伴う耕作放棄などが深刻化する中、捕獲したシカを地域資源として有効活用するため、捕獲有害鳥獣を原材料として活用するシカ肉加工施設の運営を支援します。		
事業効果	従来廃棄物として処分している捕獲鳥獣を資源として有効活用することができ、新たな地域産業の創出や地域経済への貢献が期待できます。		
事業	20 有害鳥獣有効活用事業	掲載ページ	79ページ

担当			
西脇市	農林振興課	多可町	産業振興課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市・多可町】有害鳥獣として捕獲したシカをNPO法人が運営する多可町内にあるシカの処理加工施設に搬入し、資源として有効活用した。新たな地域産業の創出や地域経済に貢献した。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市・多可町】廃棄物として処分していた有害鳥獣駆除により捕獲したシカを、資源として有効活用することができた。 【多可町】捕獲したシカをNPO法人が運営する処理加工施設に搬入することで、新たな地域産業の創出や地域経済に貢献できた。					
	事業費 (千円)	西脇市	324	多可町	985	合計	1,309
	内訳	【西脇市】シカ処理業務委託料@2,000×162頭 【多可町】シカ肉処理加工業務委託料@5,000×197頭					
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】農作物への鳥獣被害やそれに伴う耕作放棄などが深刻化する中、引き続き、従来廃棄物として処分していた有害鳥獣駆除により捕獲したシカを、NPO法人が運営するシカの処理加工施設に搬入し、資源として有効活用することで、新たな地域産業の創出や地域経済に貢献する。					
	事業費 (千円)	西脇市	300	多可町	900	合計	1,200
	内訳	【西脇市】シカ処理業務委託料@2,000×150頭 【多可町】シカ肉処理加工業務委託料@5,000×180頭					

成果指標 (KPI) ①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
シカ肉加工施設への搬入頭数	目標		—	325	325	325	325	325	頭	
	実績		325	408	407	366	370	359		
	達成率			125%	113%	114%	110%			
	評価			A	A	A	A			
指標結果の分析・評価	R6年度	【西脇市】シカ処理業務委託料を活用することで搬入量が増加した。 【多可町】シカ捕獲頭数が減少していることに伴い、搬入量が減少した。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	その他	施策	地域防災力の向上
事業概要	災害警戒時の相互情報提供や平時の防災訓練の連携など、圏域全体での防災力の向上につながる体制の整備・充実に努めるとともに、消防無線等を利用した圏域の消防・防災情報の伝達体制の検討を進めます。		
事業効果	圏域の実状等を踏まえた消防・防災情報の伝達体制の整備や災害に備えた合同訓練などを共同で実施することで、危機管理体制の維持・向上と災害発生時の被害を軽減することが期待できます。		
事業	21 消防・防災危機管理体制の整備検討	掲載ページ	81ページ

担当			
西脇市	防災安全課	多可町	生活安全課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市・多可町】災害警戒時の相互情報提供や、平時の防災訓練の実施状況や連携等について協議した。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（8割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市・多可町】災害警戒時における市町間の迅速な連絡体制を強化することができた。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳	-				
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】災害警戒時の相互情報提供や、平時の防災訓練の実施状況や連携等について協議する。					
	事業費（千円）	西脇市	50	多可町	50	合計	100
		内訳	【西脇市・多可町】災害警戒時の相互情報提供の協議にかかる事務費				

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
検討会・連携訓練 開催回数	目標		—	2	2	2	2	2	回	
	実績	2	2	2	2	2	2			
	達成率			100%	100%	100%	100%			
	評価		—	A	A	A	A			
指標結果の分析・評価	R6年度	災害警戒時の相互情報提供体制の再確認を行うことで、協力体制の強化を図ることができた。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	その他	施策	地域防災力の向上
事業概要	災害警戒時に圏域の河川の水位情報がリアルタイムで把握できるよう河川水位監視用カメラの設置と橋脚への水位標高の表示の整備について、調査検討や関係機関との事業調整を共同で行います。		
事業効果	迅速で確実性の高い情報伝達を行うことができ、避難準備情報や避難勧告の発令の判断基準として活用することで、浸水被害の防止や軽減を図ることが期待できます。		
事業	22 水位監視対策事業	掲載ページ	82ページ

担当			
西脇市	防災安全課	多可町	生活安全課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市・多可町】橋脚への水位標高の表示の整備について、両市町で意見交換及び調査検討を行った。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（8割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市・多可町】意見交換及び調査研究を行ったが設置には至っていない。令和7年度以降も、設置要望に向けた調査研究が必要である。					
	事業費（千円）	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳	-				
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】橋脚への水位標高の表示の整備について、両市町で意見交換及び調査検討を行う。					
	事業費（千円）	西脇市	50	多可町	50	合計	100
		内訳	【西脇市・多可町】調査研究活動費				

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
河川水位監視カメラ等設置箇所数	目標	/	—	16	17	17	18	18	箇所（累計）	/
	実績	14	14	22	22	22	22			
	達成率	/	/	138%	129%	129%	122%			
	評価	/	—	A	A	A	A			
指標結果の分析・評価	R6年度	当初の設置箇所数を達成できた。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	その他	施策	ごみ処理業務の連携
事業概要	圏域の美しいまちづくりを推進し、快適で衛生的な生活環境を維持するため、ごみ処理施設の運営とごみ収集運搬業務を西脇多可行政事務組合で行います。		
事業効果	ごみ処理業務の運営の効率化により、環境負荷の軽減を図ることができ、快適で衛生的な生活環境を確保することができます。		
事業	23 ごみ処理事業	掲載ページ	84ページ

担当	
西脇市・多可町	西脇多可行政事務組合 業務課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市・多可町】圏域内のごみの収集、ごみ処理施設の管理運営、再資源化等を行うため、西脇多可行政事務組合に負担金を拠出した。 【組合】圏域の美しいまちづくりを推進し、快適で衛生的な生活環境を維持するため、西脇多可行政事務組合でごみ処理施設の運営とごみ収集運搬を行った。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市・多可町】圏域内のごみの収集、ごみ処理施設の管理運営・再資源化等を行った。 【組合】広域処理により、圏域の美しいまちづくりを推進し、快適で衛生的な生活環境の維持を図った。					
	事業費 (千円)	西脇市	555,120	多可町	280,348	合計	835,468
	内訳	【西脇市】負担金 555,120千円 【多可町】負担金 280,348千円 計835,468千円 ※参考：事業実績 清掃業務 990,046千円					
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】圏域内のごみの収集、ごみ処理施設の管理運営、再資源化等を行うため、西脇多可行政事務組合に負担金を拠出する。 【組合】圏域の美しいまちづくりを推進し、快適で衛生的な生活環境を維持するため、西脇多可行政事務組合でごみ処理施設の運営とごみ収集運搬を行う。					
	事業費 (千円)	西脇市	556,180	多可町	255,583	合計	811,763
	内訳	【西脇市】負担金556,180千円 【多可町】負担金255,583千円 計 811,763千円 ※参考：事業経費 清掃業務 1,004,227千円					

成果指標 (KPI) ①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
生活系可燃ごみ 年間排出量	目標		—	8,314	8,174	8,035	7,827	7,615	トン	
	実績	8,897	8,741	8,723	8,503	8,099	7,744			
	達成率			95%	96%	99%	101%			
	評価			B	B	B	A			
指標結果の分析・評価	R6年度	指定収集袋制度・容器包装プラの分別による減量効果は維持できており、年間排出量の目標を達成できた。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	その他	施策	ごみ処理業務の連携
事業概要	廃棄物の適正処理と3R（リデュース・リユース・リサイクル）による環境負荷の低減を総合的に推進するため、発生するエネルギーの有効利用などに留意しながら、新たなごみ処理施設を整備します。		
事業効果	圏域の廃棄物の適正処理や3Rの推進、エネルギーの有効活用などにより環境負荷が少ない地域づくりが期待できます。		
事業	24 新ごみ処理施設整備事業	掲載ページ	85ページ

担当	
西脇市・多可町	西脇多可行政事務組合 資源循環課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市・多可町】新ごみ処理施設整備に当たって、西脇多可行政事務組合に負担金を拠出した。 【組合】7月20日に起工式を実施し、8月から土木・建築工事、1月からプラント工事に着手した。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（8割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	8月の工事着手以降、令和7年3月末時点で計画より0.3%の遅れとなっているが、ほぼ工程通り、順調に進んでいる。施設の名前についても、応募の中から「みどり園」と決定した。					
	事業費（千円）	西脇市	224,823	多可町	227,466	合計	452,289
	内訳	【西脇市】負担金 224,823千円 【多可町】負担金 227,466千円 ※総事業費：2,128,008千円（新ごみ処理施設整備事業 2,081,107千円、施設整備委員会運営事業 30千円ほか）					
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】新ごみ処理施設整備に当たって、西脇多可行政事務組合に負担金を拠出する。 【組合】12月末から1月初めには試運転、1月末には火入れ式を行う。2月には、ごみの一般受入を開始し、3月末には竣工式を執り行う。令和8年4月の施設本稼働に向けて、安全第一で建設工事を進める。					
	事業費（千円）	西脇市	652,948	多可町	854,450	合計	1,507,398
	内訳	【西脇市】負担金 652,948千円 【多可町】負担金 854,450千円 ※総事業費：7,375,217千円（新ごみ処理施設整備事業 7,304,956千円、施設整備委員会運営事業 94千円ほか）					

成果指標（KPI）①									
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
新ごみ処理施設整備進捗率	目標		—	17	63	100	—	—	%
	実績	0	1	2	3	8	30		
	達成率			12%	5%	8%	—		
	評価		—	D	D	D	D		
指標結果の分析・評価	R6年度	当初の計画を2年間延期し、令和8年4月稼働開始を目指すこととしたため、当初の目標値については達成できていない。							

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	その他	施策	火葬及び葬儀業務の連携
事業概要	圏域の快適で衛生的な生活環境を維持するため、広域斎場を設置し、火葬・葬儀業務を西脇多可行政事務組合で行う。		
事業効果	火葬・葬儀業務の運営の効率化により、快適で衛生的な生活環境を確保するとともに、簡素で低廉な葬儀を行うことができます。		
事業	25 広域斎場管理運営事業	掲載ページ	87ページ

担当	
西脇市・多可町	西脇多可行政事務組合 業務課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市・多可町】圏域の火葬・葬儀業務を行う広域斎場を運営するため、西脇多可行政事務組合に負担金を拠出した。 【組合】定期的な保守点検・整備を実施するとともに、火葬炉の修繕を行った。事務組合により斎場運営の効率化を図った（葬祭場・和室等式場利用率70.5%）。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（8割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	【組合】斎場運営の効率化を図り、快適で衛生的な生活環境を確保し、簡素で低廉な葬儀を提供した。					
	事業費（千円）	西脇市	18,636	多可町	10,735	合計	29,371
	内訳	【西脇市】負担金 18,636千円 【多可町】負担金 10,735千円 計29,371千円 ※参考：事業経費 斎場施設等維持管理運営事業164,018千円、車両維持管理事業9,555千円、基金積立事業14,542千円					
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】圏域の火葬・葬儀業務を行う広域斎場を運営するため、西脇多可行政事務組合に負担金を拠出する。 【組合】定期的な保守点検・整備を実施するとともに、火葬炉の修繕等を行う。事務組合により斎場運営の効率化を図る。また、快適で衛生的な生活環境を確保し、簡素で低廉な葬儀を提供する。					
	事業費（千円）	西脇市	18,104	多可町	10,379	合計	28,483
	内訳	【西脇市】負担金 18,104千円 【多可町】負担金 10,379千円 計28,483千円 ※参考：事業経費 斎場施設等維持管理運営事業177,866千円、車両維持管理事業2,054千円、基金積立事業15,335千円					

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
葬祭場・和室等式場利用率	目標		—	73	73	73	73	73	%	
	実績	73	68.9	66.4	67.3	67.9	70.5			
	達成率			91%	92%	93%	97%			
	評価		—	B	B	B	B			
指標結果の分析・評価	R6年度	令和5年度と比べ微増しており、概ね目標数値を確保している。								

事業内容			
分野	生活機能の強化		
政策	その他	施策	上下水道業務の連携
事業概要	緊急時の水道相互供給に向けた連絡管の整備など、危機管理体制の強化や事業運営の効率化に向けた連携事業を検討し、圏域における安定的な上下水道事業運営を推進します。		
事業効果	各市町が保有する施設等、経営資源の有効活用及びお客様サービスの向上につながることを期待されます。		
事業	26 上下水道基盤強化事業	掲載ページ	89ページ

担当			
西脇市	施設管理課	多可町	上下水道課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市・多可町】多可町から西脇市への給水の必要性に関して意見は一致している。しかし、当初の給水方式の考え方に相違が生じたため、方針決定に向けた協議を実施した。					
	進捗状況	D：成果が得られていない					
	取組の評価	【西脇市・多可町】引き続き、方針決定に向けた協議を進める必要がある。					
	事業費(千円)	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳	-				
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】引き続き、方針決定に向けた協議を進める。					
	事業費(千円)	西脇市	0	多可町	0	合計	0
			内訳	-			

成果指標 (KPI) ①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
連絡管接続箇所数	目標	/	-	0	0	0	1	1	箇所(累計)	/
	実績	/	0	0	0	0	0			
	達成率	/	/	-	-	-	0%			
	評価	/	/	-	-	-	-	D		
指標結果の分析・評価	R6年度	引き続き、方針決定に向けた協議を進める必要がある。								

事業内容			
分野	結びつきやネットワークの強化		
政策	地域公共交通	施策	地域公共交通ネットワークの維持及び強化
事業概要	圏域住民等の移動手段となる路線バスを運行するバス事業者に対し、運行経費を補助するとともに、圏域住民の利便性と運行の効率性に配慮の上、市町を越えて運行するコミュニティバスの運行を行います。また、都市機能が一定程度集積する市街化区域等を中心に公共交通ネットワークを整備し、地域間の移動を促進します。		
事業効果	交通弱者等のバス利用者が自由に安心して外出できる利便性の高い移動手段を確保することができます。		
事業	27 地域公共交通ネットワーク事業	掲載ページ	91ページ

担当			
西脇市	まちづくり課	多可町	企画秘書課

事業計画・取組状況						
R6年度	取組実績	【西脇市・多可町】令和5年度に引き続き、両市町を接続する路線バスに市町が協調し、運行経費を補助した。また、圏域の路線バスについて利便性の向上を図りながら効率よく運航するため利便増進実施計画を策定した。 【西脇市】コミュニティバス・デマンド型交通の運行を行うとともに、バスの均一料金制度を維持した。 【多可町】コミュニティバスと路線バスの運行区間、運行時間の重複箇所の改善に向け、路線バスへ集約した。				
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた				
	取組の評価	【西脇市・多可町】両市町を接続する路線バスに対して、市町が協調し運行経費を補助することで、路線を維持することができた。また、圏域の路線バスについて、多可町の統合中学校の整備に合わせて路線の見直しを行うとともに、利便性の向上及び効率的な運行を図るため利便増進実施計画を策定した。 【西脇市】再編後のコミュニティバス・デマンド型交通ともに支障なく運行できており、利用者数も順調に推移している。路線バスについては一部路線において利用者数が減少していることから、沿線の多可町や事業者と連携して利用促進を図るとともに効率の良い運行を目指す。 【多可町】コミュニティバスと路線バスの路線の重複箇所を路線バスに集約し、運行の効率化を図った。なお、路線バスは全体的に利用者が減少していることや、運転手確保のため、路線の再編に努めた。				
	事業費(千円)	西脇市	107,706	多可町	80,199	合計
	内訳	【西脇市】コミバス・路線バス補助金 54,141千円、デマンド型交通運行委託料 42,594千円、システム使用料・人件費 10,971千円 【多可町】路線バス運行補助 35,083千円、コミバス運行補助 9,581千円、路線バス差額運賃助成 32,691千円、多可高生通学定期補助 862千円、タクシー利用助成 1,982千円				
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】引き続き、両市町を接続する路線バスに市町が協調して運行経費を補助する。 【西脇市】コミュニティバス・デマンド型交通を運行し、バスの均一料金制度を維持する。自家用車利用から公共交通利用への転換を図る。 【多可町】令和8年度以降の統合中学校の通学に向けた町内の路線の再編を行うとともに、両市町間を接続する路線バスの利用促進を努める。				
	事業費(千円)	西脇市	120,147	多可町	96,387	合計
	内訳	【西脇市】コミバス・路線バス補助金 58,574千円、デマンド型交通運行委託料 46,032千円、システム使用料・人件費 14,341千円、パークアンドライド促進事業補助金 1,200千円 【多可町】路線バス運行補助 50,087千円、路線バス差額運賃助成 43,000千円、多可高生通学定期補助 1,000千円、タクシー利用助成 2,300千円				

成果指標 (KPI) ①									
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
公共交通利用者数	目標	—	—	174,000	181,000	181,000	181,000	181,000	人
	実績	145,500	146,530	232,055	260,522	252,271	245,532		
	達成率	—	—	133%	144%	139%	136%		
	評価	—	—	A	A	A	A		
指標結果の分析・評価	R6年度	【西脇市】運行事業者と連携し利用促進に努めた結果、目標を達成できた。 【多可町】目標は達成しているが、各路線において利用者数が減少している。							

事業内容			
分野	結びつきやネットワークの強化		
政策	道路等の交通インフラの整備	施策	幹線道路の整備
事業概要	救急搬送体制の強化や産業振興をはじめ、圏域の活性化に必要不可欠となる圏域内外を結ぶ広域幹線道路である国道427号の整備を促進します。特に西脇道路と豊部バイパスの整備促進に向け、関係機関と事業調整等を行います。		
事業効果	圏域における円滑な道路交通体系が形成され、圏域内外の交流や連携が活発になるとともに、圏域住民の交通の利便性の向上を図ることができます。		
事業	28 国道427号整備促進事業	掲載ページ	93ページ

担当			
西脇市	国県事業推進室	多可町	建設課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市・多可町】国道427号・都市計画道路西脇上戸田線整備促進期成同盟会（会長：多可町長、副会長：西脇市長）による、兵庫県及び国への要望活動を実施した。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（8割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市・多可町】兵庫県及び国への要望活動を予定通り実施し、県では令和4年度から都市計画道路西脇上戸田線において用地補償が本格的に開始している。					
	事業費（千円）	西脇市	50	多可町	50	合計	100
	内訳	【西脇市】負担金50千円 【多可町】負担金50千円 計100千円 ※国道427号・都市計画道路西脇上戸田線整備促進期成同盟会 負担金					
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】事業の促進に向け、国道427号・都市計画道路西脇上戸田線整備促進期成同盟会（会長：多可町長、副会長：西脇市長）による、兵庫県及び国への要望活動を実施する。					
	事業費（千円）	西脇市	50	多可町	50	合計	100
	内訳	【西脇市】負担金50千円 【多可町】負担金50千円 計100千円 ※国道427号・都市計画道路西脇上戸田線整備促進期成同盟会 負担金					

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
要望活動実施回数	目標		—	1	1	1	1	1	回	
	実績	1	1	1	1	1	1			
	達成率			100%	100%	100%	100%			
	評価		—	A	A	A	A			
指標結果の分析・評価	R6年度	予定どおり要望活動を実施した。								

事業内容			
分野	結びつきやネットワークの強化		
政策	道路等の交通インフラの整備	施策	幹線道路の整備
事業概要	圏域内の児童・生徒の通学時の安全・安心を確保するとともに、圏域内外の交流を促進するため、自転車ネットワークを形成し、快適な自転車利用環境を創出します。		
事業効果	圏域における自転車ネットワークが形成され、圏域内の交通の安全性、利便性が向上するとともに、圏域内外の交流や連携が活発になることが期待されます。		
事業	29 自転車ネットワーク形成事業	掲載ページ	94ページ

担当			
西脇市	土木課	多可町	建設課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市・多可町】圏域内の児童・生徒の通学時の安全・安心を確保するとともに、快適な自転車利用環境の創出に取り組んだ。 【西脇市】自転車ネットワーク計画に基づき、やすらぎの道（野村西脇線）の道路整備を行った。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市】自転車ネットワーク計画に基づく整備路線の見直しで、歩行者と自転車との分離が明確になり、通行者の安全・安心を確保することができた。					
	事業費 (千円)	西脇市	8,216	多可町	0	合計	8,216
		内訳	【西脇市】工事請負費（自転車ネットワーク路線の整備）				
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】圏域内の児童・生徒の通学時の安全・安心を確保に向け再検討を行う。 【西脇市】警察署や地元との調整の結果、自転車通行帯の設置により歩道部の通行規制が現在の自歩道から歩道となるため、安全性について再度、検討を行う。					
	事業費 (千円)	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳					

成果指標 (KPI) ①									
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
自転車ネットワーク 整備延長	目標	/	—	2.05	2.78	3.59	3.73	4.22	km (累計)
	実績	/	2.05	2.05	2.78	3.01	3.21		
	達成率	/	/	100%	100%	84%	86%		
	評価	/	/	—	A	A	C	C	
指標結果の分析・評価	R6年度	【西脇市】令和5年度に引き続き同路線の0.2kmの整備を行い、区間完了したことにより86%の達成率となった。							

事業内容			
分野	結びつきやネットワークの強化		
政策	地域内外の住民との交流・移住促進	施策	地域資源の活用による交流・移住の促進
事業概要	北はりま田園博物館総合案内所を拠点に地域づくり活動を行うNPO法人北はりま田園空間博物館を支援するとともに、滞在型市民農園等を活用した農業体験など、豊かな自然環境や地域資源を生かした都市・農村交流やにぎわいの創出などを図ります。		
事業効果	圏域の多様な地域資源を活用することで、圏域の魅力が高まり、交流人口の拡大と郷土に対する誇りの醸成を図ることができ、圏域の活性化につながることを期待できます。		
事業	30 観光交流促進事業	掲載ページ	96ページ

担当			
西脇市	商工観光課／農林振興課	多可町	商工観光課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市・多可町】圏域と都市との交流と、圏域の活性化を図る北はりま田園空間博物館事業を推進するNPO法人の活動を支援した。また、都市住民へ農作業体験の場として滞在型市民農園を広報した。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（8割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市・多可町】従来のNPO活動の支援のほか、集客力のある道の駅機能を有効活用してイベントを実施し、圏域内外問わず多くの来場者に西脇市・多可町をPRした。また、滞在型市民農園においては、問い合わせや待機者も引き続きあり、高い人気を誇っている。					
	事業費（千円）	西脇市	13,001	多可町	2,644	合計	15,645
	内訳	【西脇市】田空指定管理料（14,300千円）＋ロータリーこどもの森管理委託料（180千円）－多可町負担金（1,479千円） 【多可町】田空負担金（1,487千円）、滞在型市民農園建物災害共済分担金（57千円）、滞在型市民農園施設委譲金（1,100千円）					
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】圏域と都市との交流と、圏域の活性化を図る北はりま田園空間博物館事業を推進するNPO法人の活動を支援する。また、都市住民へ農作業体験の場として滞在型市民農園をPRする。					
	事業費（千円）	西脇市	12,982	多可町	1,544	合計	14,526
	内訳	【西脇市】田空指定管理料（14,300千円）＋ロータリーこどもの森管理委託料（180千円）－多可町負担金（1,498千円） 【多可町】田空負担金（1,487千円）、滞在型市民農園建物災害共済分担金（57千円）					

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
圏域観光入込客数	目標		—	1,736	1,878	2,020	2,162	2,304	千人	
	実績		2,304	1,717	1,699	1,995	1,968	2,044		
	達成率			98%	106%	97%	95%			
	評価			—	B	A	B	B		
指標結果の分析・評価	R6年度	入込客数数は昨年実績と比較し増加傾向にあるものの、コロナ禍以前の利用者数までは回復せず、目標の利用者数を下回った。								

成果指標（KPI）②										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
田園空間博物館利用者数	目標		—	400	412	424	437	450	千人	
	実績		431	408	380	376	364	377		
	達成率			95%	91%	86%	86%			
	評価			—	B	B	C	C		
指標結果の分析・評価	R6年度	利用者数は昨年実績と比較し増加傾向にあるものの、コロナ禍以前の利用者数までは回復せず、目標の利用者数を下回った。								

事業内容			
分野	結びつきやネットワークの強化		
政策	地域内外の住民との交流・移住促進	施策	地域資源の活用による交流・移住の促進
事業概要	圏域内で結婚を希望する未婚男女に対し、出会いの機会の創出などの支援を行うとともに、圏域の地域特性を生かした移住・定住の魅力発信や移住者の受入体制の充実に図ります。		
事業効果	男女の出会いの場を創出することや、移住者の交流の場の設置など受入体制の充実にに向けた検討、暮らしやすさや子育てに適した環境等の情報発信やPR活動を行うことで、圏域への移住及び圏域内での定住の促進を図り、人口対策の促進や少子化対策に資することが期待できます。		
事業	31 移住・定住促進事業	掲載ページ	97ページ

担当			
西脇市	建築住宅課/まちづくり課	多可町	定住推進課

事業計画・取組状況						
R6年度	取組実績	【西脇市】空き家バンクの物件登録及び利用者登録の推進をはじめ、移住相談窓口の周知ときめ細かい相談の実施、出会いのパーティーの開催などを行った。 【多可町】移住体験ツアーを1回実施し、移住サポーターによる個別相談対応を行うとともに、SNS等を活用しイベント情報を発信した。また、事業所等が主催する婚活イベントへの支援制度についての周知を行った。				
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた				
	取組の評価	【西脇市】空き家バンクの登録物件の件数、利用者登録及び取扱事業者がいずれも増加し、制度の充実に図ることができた。また、出会いのパーティーを開催し、6組のカップル成立につなげることができた。 【多可町】移住サポーターによる個別相談は9件対応し、移住希望者へのきめ細やかな情報提供ができた。事業所等主催の婚活イベント支援制度の周知も実施したが、支援制度の活用実績はなかった。				
	事業費(千円)	西脇市	362	多可町	17,016	合計
R7年度	取組計画	【西脇市】空き家バンクの物件登録及び利用者登録の推進をはじめ、移住相談窓口の周知ときめ細かい相談の実施するとともに、出会いのパーティーの開催などを行う。また、今年度から若者の移住定住の促進を図るため、新たな助成制度を実施する。 【多可町】移住相談会及び移住体験ツアーの実施、SNSなど情報発信により、移住定住を推進する。また、事業所等主催の婚活イベントを支援する。				
	事業費(千円)	西脇市	28,230	多可町	31,871	合計
		内訳	【西脇市】お試し滞在支援事業補助金192千円、結婚活動支援事業委託料150千円、結婚活動支援事業補助金(ひょうご出会いサポートセンター会員登録料の助成)20千円 【多可町】移住サポーター経費47千円、空き家バンク運営委託料1,915千円、中古住宅購入助成1,700千円、空き家活用支援事業3,750千円、あったか家族多世代住宅助成2,000千円、住宅リフォーム助成5,445千円、住宅ローン利子助成1,278千円、子育てあったかナビ作成79千円、あったか結婚祝い金700千円、結婚応援事業補助金102千円			
		内訳	【西脇市】移住支援事業補助金3,000千円、お試し滞在支援事業補助金200千円、若者向け移住定住促進事業補助金7,000千円、空き家活用支援事業補助金17,830千円、結婚活動支援事業委託料150千円、結婚活動支援事業補助金50千円 【多可町】移住サポーター経費222千円、移住支援金3,124千円、中古住宅購入助成2,000千円、空き家活用支援事業6,000千円、あったか家族多世代住宅助成7,240千円、住宅リフォーム助成5,600千円、住宅ローン利子助成1,662千円、お試しステイ交通費補助金60千円、三世同居居対応改修工事推進事業2,700千円、豊かな自然環境を利用した幼児教育等組織支援事業1,000千円、子育てあったかナビ作成63千円、あったか結婚祝い金1,000千円、結婚応援事業補助金1,200千円			

成果指標 (KPI) ①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
結婚活動支援件数	目標		—	16	16	16	16	16	件	
	実績	16	3	17	24	27	18			
	達成率			106%	150%	169%	113%			
	評価		—	A	A	A	A			
指標結果の分析・評価	R6年度	出会いのパーティーの開催や結婚活動への支援で、目標に掲げる件数を超える支援を行うことができた。								

成果指標 (KPI) ②										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
市町施策を通じた圏域定着者数	目標		—	70	72	74	76	78	人	
	実績	95	138	148	103	127	109			
	達成率			211%	143%	172%	143%			
	評価		—	A	A	A	A			
指標結果の分析・評価	R6年度	イベント等で積極的にPRを行い、西脇市・多可町ともに相談件数は増加した。西脇市では、空き家の成約件数が増加した一方で、多可町では移住者が減少した。								

事業内容			
分野	結びつきやネットワークの強化		
政策	その他	施策	環境・エネルギー対策の推進
事業概要	圏域が有する豊富な森林資源から産出される間伐材等をエネルギー資源として有効活用する木質バイオマスエネルギーの利用促進と普及拡大を図るため、木質バイオマス供給センターの運営を支援するとともに、チップボイラーの民間事業者等への導入を促進します。		
事業効果	化石燃料の代替エネルギーとして利用することで、二酸化炭素排出量の削減と森林資源の有効活用を図ることができ、地球環境への負荷の少ない資源循環型社会システムの構築につながります。		
事業	32 木質バイオマスエネルギー利用促進事業	掲載ページ	99ページ

担当			
西脇市	環境課	多可町	商工観光課／産業振興課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市・多可町】北はりま森林組合等と調整し、安定した間伐材の確保を図った。また、チップボイラーの民間普及に向けて情報発信した。 【多可町】チップ燃料の供給地として、原料となる原木を確保し、北はりま森林組合が需用者へ販売した。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市・多可町】燃料費の高騰で木質チップの需要が高まったが、十分な供給対応ができた。					
	事業費 (千円)	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳	-				
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】北はりま森林組合等と調整し、安定した間伐材の確保を図る。また、チップボイラーの民間普及に向けて情報発信を行う。 【多可町】チップ燃料の供給地として、原料となる原木を確保し、北はりま森林組合によって需用者へ販売する。					
	事業費 (千円)	西脇市	0	多可町	0	合計	0
		内訳	-				

成果指標 (KPI) ①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
木質バイオマス供給量	目標		—	3,800	4,100	4,400	4,700	5,000	トン	
	実績	3,200	3,725.3	4,211.3	4,317.8	4,908.9	5,061			
	達成率			111%	105%	112%	108%			
	評価			A	A	A	A			
指標結果の分析・評価	R6年度	生産された木質チップは、公共施設や民間施設での利用量が増え、目標値を上回る結果となった。								

事業内容			
分野	結びつきやネットワークの強化		
政策	その他	施策	環境・エネルギー対策の推進
事業概要	地球環境への負荷が少ない低炭素社会を形成するため、公共施設等への太陽光発電の設置など、自然と調和した再生可能エネルギーの導入を推進します。また、圏域全体での取組を推進するため、再生可能エネルギーへの利用転換や活用を支援する調査研究を行います。		
事業効果	二酸化炭素排出量の削減と圏域のエネルギー自給率の向上を図ることができ、地球環境への負荷の少ない資源循環型社会システムの構築につながることが期待されます。		
事業	33 再生可能エネルギー導入推進事業	掲載ページ	100ページ

担当			
西脇市	環境課	多可町	商工観光課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市・多可町】公共施設等への太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入を推進した。 【西脇市】民間住宅を対象に、再生可能エネルギーを活用する設備の導入を支援した。 【多可町】民間事業者との連携で、太陽光発電システムの運用を行った。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（8割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市】事業費の拡大で、令和5年度実績から交付件数が増加した（146件→276件）。 【多可町】民間事業者との連携で、太陽光発電システムの運用を行った。					
	事業費 (千円)	西脇市	12,257	多可町	0	合計	12,257
	内訳	【西脇市】家庭用創エネ省エネ設備等導入促進事業奨励金12,257千円					
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】公共施設等への太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入を推進する。 【西脇市】地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定し、温室効果ガス削減目標の設定及び施策を立案する。 【多可町】民間事業者との連携で、太陽光発電システムの運用を行う。					
	事業費 (千円)	西脇市	4,332	多可町	0	合計	4,332
	内訳	【西脇市】環境基本計画改定事業4,332千円					

成果指標 (KPI) ①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
公共施設等への太陽光発電等の導入数	目標		—	24	24	24	24	24	施設数(累計)	
	実績	23	23	23	24	24	24			
	達成率			96%	100%	100%	100%			
	評価		—	B	A	A	A			
指標結果の分析・評価	R6年度	既設の太陽光発電設備等を適正に運用・管理した。								

成果指標 (KPI) ②										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
家庭への太陽光発電(10kw未満)の導入数	目標		—	1,575	1,615	1,655	1,695	1,735	件数(累計)	
	実績	1,538	1,584	1,659	1,757	1,847	1,988			
	達成率			105%	109%	112%	117%			
	評価		—	A	A	A	A			
指標結果の分析・評価	R6年度	民間住宅を対象に、再生可能エネルギーを活用する設備の導入を支援し、二酸化炭素の排出量が削減できた。								

事業内容			
分野	結びつきやネットワークの強化		
政策	その他	施策	住民相談窓口の相互利用
事業概要	専門的知識を有する消費生活相談員を配置し、両市町で実施している消費生活・多重債務相談について、消費者被害への迅速で適切な対応を行うため、相談窓口の相互利用を実施し、相談体制の充実を図ります。		
事業効果	相談体制の充実と相談窓口の利便性の向上により、圏域住民の消費生活の安定と向上を図ることができます。		
事業	34 消費生活・多重債務相談窓口の相互利用の推進	掲載ページ	102ページ

担当			
西脇市	防災安全課	多可町	生活安全課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組実績	【西脇市・多可町】消費生活・多重債務相談業務について、両市町で専門的知識を有する消費生活相談員を配置し、市役所・役場の全営業日に圏域住民が相互利用できる相談窓口を開設した（相談員出勤日：西脇市3日/週、多可町2日/週）。また、相談事例の情報共有を行った。					
	進捗状況	A：想定どおりの成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市・多可町】両市町で相談員が相談に応じていることから、急な相談があった場合でも、圏域内で相互に相談対応することができた。また、他市町の相談を受けることで、消費者問題の傾向を知るきっかけとなった。					
	事業費 (千円)	西脇市	3,039	多可町	2,791	合計	5,830
	内訳	【西脇市】人件費ほか 【多可町】人件費ほか					
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】引き続き、専門的知識を有する消費生活相談員を配置し、市役所・役場の全営業日に圏域住民が相互利用できる相談窓口を開設する（相談員出勤日：西脇市3日/週、多可町2日/週）。また、相談事例の情報共有を図る。					
	事業費 (千円)	西脇市	3,266	多可町	2,326	合計	5,592
	内訳	【西脇市】人件費ほか 【多可町】人件費ほか					

成果指標 (KPI) ①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
消費生活・多重債務相談 窓口の相互利用可能日 数	目標		—	240	240	240	240	240	日	
	実績	240	243	242	243	243	243			
	達成率			101%	101%	101%	101%			
	評価		—	A	A	A	A			
指標結果の分析・評価	R6年度	西脇市（月・水・木相談窓口）、多可町（火・金相談業務）との連携により目標を達成できた。								

事業内容			
分野	結びつきやネットワークの強化		
政策	その他	施策	住民相談窓口の相互利用
事業概要	女性の就労支援や子育てに係る相談など、中心市で開設する相談窓口の対象を関係自治体住民に拡大し、多様な相談窓口の確保と相談機会の充実を図ります。		
事業効果	圏域で多様な相談窓口が確保され、相談機会の充実が図られることにより、圏域住民の不安の解消や支援につながります。		
事業	35 住民相談窓口の広域利用の推進	掲載ページ	103ページ

担当			
西脇市	茜が丘複合施設／はびいくサポートセンター	多可町	こども未来課

事業計画・取組状況						
R6年度	取組実績	【西脇市・多可町】相談窓口の利用方法を、広報紙やチラシ、ホームページやSNSで情報発信した。 【西脇市】茜が丘複合施設Miraieで、女性の就労起業支援や子育てに関する個別相談会を行った（相談件数：仕事相談18、就労相談5、起業相談9、悩み相談3、子育て相談116／計151）。 【多可町】こども未来課と生涯学習課が女性の起業セミナー及び就労に関する個別相談、子育てに関する個別相談会を行った（相談件数：就労相談4、女性の起業セミナー6、子育て相談97／計107）。				
	進捗状況	C：不十分であるが一部において成果が得られた				
	取組の評価	【西脇市・多可町】就労相談等には、西脇市の相談窓口が多可町在住の方の相談利用はほぼない状況であり、更なる周知啓発等が必要である。 【西脇市】女性の就労に関する相談件数については、昨年度より若干の減、起業相談、子育てに関する個別相談については昨年度よりそれぞれ約5割減となった。 【多可町】子育て世代の就労関連相談件数は昨年度と同程度だったが、女性の起業関連セミナーは子育て世代に限らず広報したが参加者は6名だった。周知方法が課題である。子育てに関する個別相談は、改修工事で全体の利用者数減のため、昨年度より約3割減となった。				
	事業費(千円)	西脇市	990	多可町	30	合計
	内訳	【西脇市】就労起業支援相談業務等（社労士等）報償費270千円、こどもプラザ事業プレイサポーター（臨床心理士）報償費720千円 【多可町】就労に関する個別相談に関する事業は県の派遣事業であるため、全て県負担。女性の起業セミナーは報償費30千円				
R7年度	取組計画	【西脇市】茜が丘複合施設Miraieで、女性の就労起業支援や子育てに関する個別相談会を実施する。相談窓口の利用について、広報紙やチラシ、ホームページ、SNS等で啓発する。 【多可町】女性の起業セミナー及び就労に関する個別相談事業を県の派遣事業にて実施する。また、子育てふれあいセンターにおいて、子育てに関する個別相談を実施し、広報紙やチラシ、ホームページ、SNS等で啓発する。				
	事業費(千円)	西脇市	990	多可町	0	合計
	内訳	【西脇市】就労起業支援相談業務等（社労士等）報償費270千円、こどもプラザ事業プレイサポーター（臨床心理士）報償費720千円 【多可町】女性の起業セミナー及び就労に関する個別相談に関する事業は県の派遣事業であるため、全て県負担。				

成果指標 (KPI) ①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
対象相談窓口利用者数	目標		—	362	364	366	368	370	人	
	実績		400	—	158	306	429	258		
	達成率				44%	84%	117%	70%		
	評価				D	C	A	C		
指標結果の分析・評価	R6年度	【西脇市】令和5年度と比較し、女性の就労に関する相談件数は同程度だったが、起業、子育てに関する個別相談は大幅に減少しており、周知啓発の必要がある。 【多可町】女性の起業セミナー及び就労相談件数は、合計では令和5年度と同程度であったが、より多く参加いただくために積極的なSNSの活用や商工関連部署との連携が必要である。子育て相談件数の減少は、施設へのアクセス数の減少が大きな要因であったと考えられる。								

事業内容			
分野	圏域マネジメント能力の強化		
政策	人材の育成及び確保	施策	人材の育成及び確保
事業概要	圏域自治体職員の職務遂行能力向上のため、合同研修会を実施します。また、圏域の政策課題への対応のため、専門的知識を有する人材の活用・育成や、両市町が相互補完できる分野での職員の人事交流について検討を行います。		
事業効果	圏域の自立と持続可能な成長を牽引する人材を育成・確保することで、圏域の政策課題について円滑な解決を図ることができます。		
事業	36 職員人材育成・確保事業	掲載ページ	105ページ

担当			
西脇市	総務課	多可町	総務課

事業計画・取組状況							
R6年度	取組計画	【西脇市・多可町】両市町職員が参加する合同研修会（スキルアップ研修）を実施した。また、人事交流等の研究、先進地事例調査などを行った。					
	進捗状況	B：おおむね想定どおり（8割以上）の成果が得られた					
	取組の評価	【西脇市・多可町】合同研修会を11月6日にアンダーコントロール研修（参加者16名）、11月13日にコミュニケーション研修（参加者21名）を実施した。職員それぞれの能力向上に加え、市町職員間の意見交換の場になっている。また、両市町の研修担当者で、今後の取り組みについて検討した。					
	事業費（千円）	西脇市	266	多可町	86	合計	352
	内訳	※研修委託料は参加人数で案分する。					
R7年度	取組計画	【西脇市・多可町】両市町職員が参加する合同研修会（スキルアップ研修）を実施する。また、人事交流等の研究、先進地事例調査などを行う。					
	事業費（千円）	西脇市	—	多可町	—	合計	440
	内訳	※研修委託料は参加人数で案分する。					

成果指標（KPI）①										
指標名	区分	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
合同研修参加者数	目標	/	—	90	90	90	90	90	人	/
	実績	/	75	68	45	53	37			
	達成率	/	/	76%	50%	59%	41%			
	評価	/	—	C	D	D	D			
指標結果の分析・評価	R6年度	研修参加者数が減少傾向にあるため、職員が関心を持つカリキュラムを計画する必要がある。								